



平成28年4月1日創立

世田谷区立下北沢小学校

同窓会報

令和3年度
(令和3年11月発行)

発行所
世田谷区大原1-4-6
下北沢小学校同窓会

発行人
野地勝彰

同窓会長 野地勝彰 昭和二六年東大原卒

三校合同で同窓会も新体制へ

ほとんどの会員の方はワクチン接種を済ませていることでしょう。早く収束して欲しいものです。

新型コロナの影響で昨年、今年と二年続けて同窓会を開けず、予定して頂いていた講師の方にもご迷惑をおかけしてしまいました。会則では評議員会が総会を代替できますので、本来なら総会で決定すべき事項を評議員会で議決してきました。今年の内容は別ページをご覧いただきたいと思います。

評議員会での議決は次回の総会へ報告を要しますので、来年こそは本ページにご案内のとおり総会を開催して二年分の報告をしなければなりません。

同窓会にとってこの二年間での大きなできことはやはり北沢小学校同窓会が合流したことです。学校の統合に遅れること三年、これで同窓会も最終的な形となり下北沢小学校卒業生を含めて四校の卒業生を会員とする大組織となりました。

統合によって三校それぞれの名前が消えてしまうことは大変淋しく残念なことで、別の名前では愛着がわかないという声も聞かれます。しかし旧名のままではこれから会員は増えませんので発展は望めず、それぞれの同窓会で検討された結果、下北沢小学校同窓会にまとまつたわけです。最後に合流した北沢小学校卒業生の方々もこの趣旨に賛同してくださり約七十名の方達が早速会費を納入して下さいました。

今年は二年毎の役員改選時期ですので四月の評議員会で次期評議員、理事、監事、会長、副会長、参与を決議しました。それぞれの氏名は別ページをご覧いただきました。将来は下北沢小学校の卒業生

も役員になつてくれることでしょう。これから二年間はこのメンバーで運営して参りますのでよろしくお願ひ致します。

下北沢小学校同窓会 第5回総会のお知らせ

日時:令和4年4月17日(日)
午後3時から5時
会場:下北沢小学校体育館

長く続いたコロナ禍でこの二年間総会が開けませんでした。ワクチンの接種も進み、ようやくWith Corona の時代に入ってきたようです。

久し振りに同級生を誘い合って母校体育館にお集まりください。

新たに下北沢小学校同窓会のお仲間になられた北沢小学校の卒業生も是非ご参加下さい。

なお総会の詳細については後日、ホームページおよびポスターにてお知らせいたします。

新型コロナの影響で地域イベントへの協賛はほとんどできませんでしたが、同窓会の目的の一つである母校の教育環境の向上については昨年オンライン教育のためのタブレット五台を寄贈し、今年度は同窓会文庫を復活します。これは学校の図書予算を補う趣旨で十年前に始めたのですが、新校舎建築中の仮校舎移転の際に中断しており、今回、復活のお願いが学校からありました。これからも積極的に活動を進めて参りますので会員皆様のご支援をお願い申上げます。



新型コロナウイルス感染症対策と教育活動の両立

下北沢小学校 校長 大字弘一郎

令和三年に入つても、いまだに新型コロナウイルス感染症は猛威を奮っています。緊急事態宣言の発出も四回を数え、同窓会のみなさまに学校の様子や子どもたちの元気な姿を直接見ていただく機会をなかなかもつことができません。一日も早い感染収束を願うばかりです。

この場をお借りして、学校の様子をお伝えしたいと思います。

令和三年三月二十五日の卒業式では、百十名の卒業生を送り出すことができました。式場にある体育館と教室をオンラインでつなぎ、五年生は教室で式の映像を見て卒業生の門出をお祝いしました。距離は離れていても、心と心がつながった感動的な卒業式となりました。

四月には、一三三名の新一年生を迎えるました。入学式は、感染対策から午前と午後の二回に分けて行いました。令和二年度の入学式では、二ヶ月遅れの六月六日でしたので、あらためて春の入学式のよさを実感しました。四月二十五日には、東京都に三回目の緊急事態宣言が発出され、その期間は六月二十日まで延長されました。遠足をはじめとする校外での活動や学校公開なども中止せざるを得ない状況が続きましたが、「制約は工夫で乗り越えられる」を合言葉に、できる限り教育活動の充実に努めました。

昨年度は実施できなかつた水泳指導も、今年は学級ごとに行いました。「マスクをしていないときははしゃべらない」約束でしたので、普段は子どもたちの歓声が響くことはありませんでしたが、笑顔がはじけていました。夏休みに入り、新型コロナウイルスがデルタ株に置き換わったこともあり、感染者数が激増しました。子どもの感染も大幅に増えたため、二学年

期は緊張感の高いスタートとなっていました。

学校では九月三日から分散登校が始まりました。

二グループに分け、AグループがクラスをAとBの二グループに分けて、Aグループが登校する日は、



Bグループは家でオンライン授業を受けました。下北沢小学校では、先生方の懸命な努力とご家庭協力で、大きな混乱もなくオンライン授業を進めることができました。

十月になると、運動会、六年生の日光林間学園、五年生の川場移動教室があります。昨年度は、宿泊行事を実施することができませんでしたが、今年度は日程を延期して実施ができそうです。

現在も、学校では、様々な感染症対策を講じた上で教育活動を進めています。給食時の黙食はすっかり定着しましたが、スプーンとお皿がぶつかる音だけが聞こえる給食の時間は、正直とても切ないです。楽しい会食の時間が戻てくる日を心待ちにしています。

私は、どのような状況であっても、「学校はすべての子どもたちが安心して、楽しく通える、魅力的な場所」でありたいと思っています。

これからも教職員が心を一つにして、魅力ある下北沢小学校にしてまいりますので、同窓会のみなさまの変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

下北沢小学校の子どもたち

下北沢小学校 副校長 石川亜由美

私は、今年の四月に下北沢小学校の副校長として着任いたしましたが、実は、平成二十六

年四月から平成二八年三月末までは東大原小学校に、平成二八年四月から平成三十年三月末までは下北沢小学校に、主幹教諭として在籍しておりました。

旧東大原小学校と旧守山小学校が統合する際には、教育計画の作成に、また、統合後は、北沢小学校の子どもたちを迎える準備に、当時の教職員と共に関わることができました。そういう縁のある学校にまた戻つて来られたことを大変うれしく感じております。私が主幹教諭として在籍していた当時から、本校には、「四つの柱」という宝物がありました。

①あいさつはすすんでする

②廊下は静かに右側を歩く

③人の話は静かに聞く

④五分前行動をする

この四つです。どれも社会生活を送る上で大切な力であり、この宝は、上級生から下級生へと受け継がれています。

二年ほど前に、校庭に時計が見えない場所があり五分前行動をとることができないと訴えた児童がいたこと、そして同窓会の方々が

大時計を寄贈してくださいさつたことを耳にしました。児童の声を受けて動いてくださった同窓会の皆様にありがたさを感じるとともに、自分たちの生活をよりよくしようと声をあげた児童を頼もしく思いました。

コロナ禍により



充実した活動になるかを教職員と子どもたちと共に考え、工夫し、よりよい下北沢小学校にしていきたいと思います。これからも、ご支援のほど、どうぞよろしくお願ひいたし

同窓会の活動

本年度の下北沢小学校同窓会はコロナの影響もありほとんどの活動を自粛してまいりました。地域との共生のための活動も、ほとんどのイベントが中止となり、わずか一件、「世田谷代田のこと祭り」への支援にとどまりました。

平成二十四年に始まつた東大原小学校への図書支援「同窓会文庫」は、学校統廃合が決定した平成二七年までに四五四冊の図書を寄贈しました。その後同窓会文庫事業は中断されおりました。下北沢小学校新校舎完成から四年が流れ、下北沢小学校同窓会は新体制となり、学校側からの要望を受け、児童が読みたい本、教育に必須な本を専門家に選択していただき、年間十万円を予算として同窓会文庫事業を開することになりました。

北沢小学校同窓会の活動を振り返つて

副会長 菅原充 昭和四四年北沢卒

昨年、下北沢小の同窓会に合流した北沢小の同窓会がしてきた活動を紹介します。

*年に一度の「同窓会だより」の発送、同窓会総会と懇親会の開催
便りには一年間の小学校の様子、同窓会の活動、変わりゆく地域の様子、同期会クラス会をされた同窓生の写真と文等を掲載しました。また、ハガキに寄せられた先生、同窓生のコメントは全部掲載しました。翌年のコメントには、○○先生や、○○さんの近況がわかったとのコメントが寄せられ、会員親睦の目的を果たす一助になりました。

同窓会総会にはゲストを呼び、短い講演をしました。懇親会は楽しい雰囲気の中、お一人ずつ、お話しいただきました。

*在校生との交流

PTA主催の北小フェスティバルでは模擬店を出したり、割りばし鉄砲の作り方を教えたとありました。一、二年生の生活科の授業「昔遊びをしよう」に地域の方と一緒に毎年出向き、あやとり、かるた、おはじき、コマ回し、けん玉、ベーゴマ等で遊びました。

三年生国語「昔のことを見聞いてみました」では、同窓会で作成した写真集や、資料室の道具等を使いながら、昔の授業、教室、給食、服装、持ち物などの話をし、児童の質問に答えました。その他、学校からのご要望で掲示板作成、新しい校旗、児童の活動応援、ビオトープ見守りなどもしました。

周年行事には実行委員として参加し、北沢小学校お別れ会を開催しました。

今後は下北沢小学校同窓会の一員として微力ながら努力したいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

追悼

宮川参与のご逝去を悼む

会長 野地勝彰

同窓会参与の宮川英子様が本年八月一五日ご逝去なされました。

宮川参与は東大原小学校を卒業後、成徳花見堂小学校の校長を最後に引退され、その後小生の前の同窓会長をされました。

川さんは母校の教員でもあつたことで同窓会には格別の想いがあつたことでしょう。昭和四二年に七五周年を記念して同窓会名簿が発行されたのは、昨年逝去された大村さんと当

偉大なる宮川英子先生

大岡雅子 昭和三六年東大原卒

昭和三六年三月に東大原小学校を卒業しました私たち六年三組は宮川先生の担任クラスでした。

その頃は一クラス五四人の生徒が居り、教室はいつもございました。

先生ははつきりとよく通る声で私たちをご指導くださいり、特に忘れ物には厳しかったと 思います。卒業式には羽織袴姿でした。

六年三組のクラス会は平成五年、四五年の時に再開され、クラスのまめな男子が昔の住まいを一軒ずつ訪ね歩いて転居先を調べた結果三十名もの懐かしい顔が集まりました。

その後も頻繁にクラス会が開催され、先生はいつもご出席でした。温泉旅行にも行きま したが、二〇〇八年の伊豆の時には先生はご自分の車で参加され、帰りには名古屋の息子さんのお所へ回ると仰っていました。

先生は車の運転がお好きであちこちいらして いたようです。お酒もお強く、カラオケもお好きでした。

二〇一五年には先生の米寿と叙勲をお祝 いして同期会を開きました。

私たちちは六十歳の時初めて同窓会に参加し、その後同窓会長になられた宮川先生のお力になりたいと、漆畑、斎藤、小山田各氏とともに同窓会運営に携わるようになり、現在に至っています。

時同窓会事務局をなさつていた宮川さんが毎日学校に行き、一万一千人に及ぶ卒業生の名前を学籍簿から書き写したと聞いてお聞き、こういう大変な御努力があつて今の同窓会の基盤がつくられたのです。またこのお二人なくして今の同窓会はなかつたでしょう。本当に有難うございました。ここからご冥福をお祈りいたします。

世田谷区の学校統廃合政策により、東大原小学校の名前が無くなってしまったという時に原はもと、何度も編集会議を重ね、平成二八年声にには「さようなら東大原」という立派な文集が出来上がりました。先生のお宅で宅配ピザを食べながら会議をした事もあり、楽しい編集作業でした。

先生は二〇一八年の年末ごろから股関節を痛められ、その後車椅子での生活を始められました。二〇一九年に開かれた新しい校舎での同窓会には車椅子で参加されました。

私は昨年の大晦日に自作のケーキを召し上がつて頂こうと先生のご自宅をお訪ねしました。

私は今年の大晦日に自作のケーキを召し上がつて頂こうと先生のご自宅をお訪ねしました。私は昨年の大晦日に自作のケーキを召し上がつて頂こうと先生のご自宅をお訪ねしました。私は今年の大晦日に自作のケーキを召し上がつて頂こうと先生のご自宅をお訪ねしました。私は昨年の大晦年に自作のケーキを召し上がつて頂こうと先生のご自宅をお訪ねしました。私は今年の大晦年に自作のケーキを召し上がり下さった車椅子のまま玄関に出ていらして、突然伺つたにもかかわらず、相変わらずおしゃれで笑顔で迎えて下さいました。今年頂いた年賀状にはきれいな筆字で「私、九三歳、今年も車椅子のひどい暮しが楽しめます。」と書いておられました。まさかこんなに早く先生の訃報に接するとは思つてもおりませんでした。

永い間教育者として子どもたちに愛情を注ぎ、ご自身の母校でもある東大原小学校のため原下に浮かぶ。しかし選手が調布で折り返して「裸足の王者」という当時の新聞の見出しとは待つのは、小学生にとつては手持ち無沙汰でなかなか辛かった。

宮川英子先生に感謝申し上げる下に浮かぶ。しかし選手が調布で折り返して「裸足の王者」という当時の新聞の見出しとは待つのは、小学生にとつては手持ち無沙汰でなかなか辛かった。



閉校記念文集作成時

上げるとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

特別寄稿

「小学生と2つの東京オリンピック」

藤原庸介 昭和四一年東大原卒

一年遅れで実施された一回目の東京オリンピック。今の子どもたちはこの大会から何を得たのだろうか。私が東大原小学校五年生の時に行われた前の東京オリンピックでは、あれから五七年経つた今でも忘れられないことが沢山あつた。さらに言えばあのオリンピックが私のその後の人生を方向づけたと言えるのか知らない。

当時の東大原小学校は各学年三クラスで、卒業時の我々の学年では一組が三九名、二組と三組には四十名の児童がいた。三年生から六年生までの四年間はクラス替えもなく同じメンバーの学級だった。

東京オリンピックは一九六四年十月十日に行幕し、大会期間中に担任の江藤規矩夫先生は教室のテレビをつけて授業中に何度も競技を見せてくれたと記憶している。またマラソンは今のように週末ではなく十月二一日の水曜日に行われたので、私たち五年生は引率され代田橋の近くの甲州街道レースを見に行つた。マラソンの往路は国立競技場を出発した選手の一団があつて、その金網につかまつて各國選手がゲートから

異なり真っ白な靴を履いていたのがいまだに目に入つた。しかし選手が調布で折り返してグループで出てくる。それをいかにうまく足を止めサインさせるかが腕の見せ所だ。アメリカやソビエトなど大国の選手は大体二種類に分かれ、子供など全く無視して神経質に腕時計を見ながらランニングに出て行く者と、丁寧にサインしてくれる者がいた。一方で欧

イズ（米国）、柔道無差別級で神永五段を破ったヘーシング（オランダ）、水泳で四個の金牌をとつたショランダー（米国）、体操で強豪ソビエトを抑えたチャスラフスカ（エコスロバキア）、バレーボール日本の東洋の魔女、そして重量挙げ最重量級のジヤボチンスキ（ソビエト）などに我々は熱中した。

一方、今回のオリンピックではメディアは日本メダリストばかりを取り上げたようにならう。ウサイン・ボルトのようなスーパースターの不在も一つの理由ではあるが、柔道でも最重量級の王者で団体戦で日本を破つたフランスのリネールよりは阿部兄妹の金メダルの方が遙かに子どもたちの印象に残つただろう。これはメディアの問題と言うよりは、この半世紀余りの間に日本人の尺度が変化したせいではないだろうか。資源がなくとも技術と努力で世界に伍するようになるのだといふ一九六四年当時の意気込みから、安全安心が一番とという内向きな標準に日本人の視線が下がつてしまつたのではないだろうか。

これはメディアの問題と言つては、この半世紀余りの間に日本人の尺度が変化したせいではないだろうか。資源がなくとも技術と努力で世界に伍するようになるのだといふ一九六四年当時の意気込みから、安全安心が一番という内向きな標準に日本人の視線が下がつてしまつたのではないだろうか。

州の小国や南米、アフリカなどの選手は、インのついでに二言三言、何か話しかけてくれることもあった。特に当時のアフリカはイギリス領やフランス領の植民地から独立したばかりの国が多く活力にあふれていた。選手の「追っかけ」をしばらくやつていると、サインしてくれるかどうかは前もってわかるようになる。そのポイントは、決して視線を避けずにつすぐ相手の目を見ること。目に反応があれば、必ずサインしてくれ。相手の肌が黒かろうが白かろうが、自分の倍以上もの背丈があろうが、それは全く関係ないこともわかつた。それが会得できた頃には秋の気配が濃くなり、オリンピックは終わってしまった。

元NHK記者 ローマ支局長アトランタ支局長

小学生の子どもたちにもそのようなものを僅かでも残してくれたことを私は切に願つている。

け始めた。

藤原庸介 流通経済大学スポーツ健康科学部准教授／元日本オリンピック委員会理事／元NHK記者 ローマ支局長アトランタ支局長

筆者藤原庸介さんは令和二年、三年の同窓会総会での講演をお願いしておりましたが、コロナ感染症の影響で総会が開催出来なかつたため、会報への寄稿をお願いいたしました。

「コロナ下を生きて」

副会長 斎田孝 昭和二八年守山卒

令和二年の梅まつりは盛況であった。

ところが事態は急転して、まつりは大凶事に襲われてしまったのである。会期の終わりにフイナーレを迎えるれば大成功の筈であつた。

今回はコロナの中でのオリンピック開催に直前まで多くの反対の声があつた。日本選手が多くのメダルを取り日の丸を上げないと開催はおぼつかないという声もあつた。そして日本選手が金メダル二七個、合計五八個という史上最多のメダルを獲得し、大会後の世論調査では良

かしさこれで良かったのだろうかと一九四年の小学生の心が今の私に問いかける。一九六四年の感動と日本の獲得メダル数は多かった選手は、国籍に関係なく世界で一番速く、一番強く、一番美しく、あるいは一番の力を持ちだつたではないか。最終的にオリンピックが成功したか否かの心安は、世界の技と力が生み出す感動が人々に残つたかどうか、そして世界の人々に対する心安するわけ隔てのない気持ちを皆が持てるようだつた。私たち東大原の小学生に残してくれたものが私たちは、世界の技と力が生み出す感動が人々の心安になつたかだと私は思う。それが前回の大会だつた。今回のオリンピックが今のは北沢

ところが、念のためにと思い、掛かりつけ医の勧めもあつて、検査を受けた所、循環器に欠陥がある事が判明し、更に厳格な生活指導を受ける羽目になつてしまつた。高齢で、基礎疾患があるという事で、感染したら、イチコロで生命は無いという事態である。

歴史的上、ペストや赤痢の流行で社会が大打撃を受けるという事は勉強した事があるが、現在これと同じような事態、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の真っ只中に居るという事が、私の人生において、唯今、起こっているという事が信じられない思いである。とはい、現実の日常では、医師の指導に従い、家に閉じ籠る日々を過さざるを得なくなつてしまつたのである。

それでも、友達という存在は有難いもので、同じ様に年相応に一病を患い、閉じ込められた日々に何とか耐えている仲間同志がそれなりに居て、リモートでの会合を開き、タドタドしく、パソコンと格闘しながら、わずかにお互いの同士の接点を作つて、いる事が、救いとなつてゐる。とはい、会合が終わつた後で、今一つ空しい感じが残り、早くリアルで会える時が来て欲しいと思つてゐるのである。

私のコロナ禱

副会長 白井良雄 昭和二九年東大原卒

コロナが始まつて家に蟄居する日々が続きました。

コロナが始まって古女房だけ。ふたりで終末断捨離を意識して古いアルバムの整理をはじめました。なんとなく思い出話がはじまって時間が過ぎ、今日も何枚も捨てられなかつたという日が続いています。こんなに女房と長い時間生きて来たのだと思いつつ、共同作業をし始めて話したのは五十年ぶりだつたのかもしません。わたしのコロナは女房との共生の現実を改めて確認が出来たことでした。

令和3年4月18日に開催を予定していた同窓会総会は新型コロナウイルス感染症拡大防止および政府・東京都のイベント自粛要請を考慮して学校側とも相談の結果中止し、令和3年7月25日開催の評議員会にて会則に則り総会上程予定議案の代行決議を行い可決しました。その内容を以下のとおり報告いたします。

I. 報告事項

1. 令和2年度事業報告

(イ) 総会の開催中止

令和2年4月19日(日)開催予定の第4回同窓会総会は新型コロナウイルス感染症拡大防止として発令された緊急事態宣言により中止とし、令和2年9月27日に開催した評議員会で会則に則り総会上程議案の代行決議を行い承認可決した。また、北沢小学校同窓会の合流を全員異議なく承認決議し令和2年9月27日付けにて合流した。

(ロ) 会員名簿の管理及び会報の発行

同窓会報(第4号)を6,500部作成し、合流した旧北沢小学校同窓会会員を含めて令和2年11月に発送した。

(ハ) 母校の教育環境の向上

緊急事態宣言の発令下、学童の平等なオンライン授業への対応と環境整備のため学校と協議しタブレット端末5台を寄贈した。なお、例年実施されている入学式、卒業式、運動会等への参加は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から見送られた。

(ニ) 同窓生や地域の親睦を図るための事業

本年度は実施しなかった。

(ホ) 地域との連携

世田谷代田のこと祭りに協賛した以外は新型コロナウイルス感染症防止の観点から開催がかなわず残念な一年であった。

(ヘ) 理事会、評議員会の開催

理事会を4回、評議員会を2回開催した。

(ト) ホームページの管理・運営

下北沢小学校同窓会のホームページを随時更新している。

II. 決議事項

第1号議案「令和3年度事業計画(案)」

(1) 総会の開催

4月の総会は中止とする。

(2) 会員名簿の管理及び会報の発行

年1回の同窓会報作成とより多くの会員への送付を実施し、会費納入会員の更なる増加を図る。

会員名簿の管理は、「個人情報保護方針」に従い、責任者の下で厳重に行い個人情報漏えい防止に努める。

(3) 母校の教育環境の向上

母校や学校関係諸団体とのコミュニケーションを継続して行う。

各種学校関連行事への参加、協賛、寄贈などを学校と協議し実施していく。

(4) 会員の福利厚生

会員の親睦を図るための旅行、催し等の事業を企画する。地域の方々を含め、会員の幅広い参加を図る。

2. 令和2年度決算報告および会計監査報告

令和2年度決算報告

(自:令和2年4月1日 至:令和3年3月31日)

(単位:円)

収入の部	予算額	決算額	支出の部	予算額	決算額
会 費 収 入	700,000	648,000	活 動 費 (*1)	250,000	206,959
寄 付 金	300,000	696,300	会 報 費 (*2)	770,000	582,925
預 金 利 息 収 入	-	95	総 会 ・ 懇 親 会 費	-	-
雑 収 入	-	-	通 信 費	20,000	2,430
北沢小同窓会余剰金受入	190,000	191,800	文 具 等 消 耗 品 費	70,000	42,844
			振替払込手数料負担	95,000	60,419
			振替取扱用紙印刷代	7,000	6,103
			メモリアルスペース費用	30,000	-
当年度計	1,190,000	1,536,195	当年度計	1,242,000	901,680
前 年 度 繙 越 金	2,138,149	2,138,149	次 年 度 繙 越 金	2,086,149	2,772,664
合 計	3,328,149	3,674,344	合 計	3,328,149	3,674,344

次年度繙越金の内訳:振替口座 49,521円、普通預金 1,723,143円、定期預金 1,000,000円

活動費(*1)明細

支出内容	金額(円)	支出内容	金額(円)
ホームページ管理費	60,060	編集・印刷代(8ページ建、6,500部)	198,660
寄付・協賛金(1件)	10,000	発送代(DM便 3,845通)	342,205
タブレット端末寄贈(5台)	127,105	名入封筒代(3,500部)	42,060
弔意金	9,794	合 計	582,925
合 計	206,959		

会員の皆様からの会費・寄付金の支出にあたっては、同窓会活動に必要な経費の支出に限定しております。

また、下記のガイドラインを設け、注意を払い、健全な会計を目指して活動しております。

- ・同窓会役員は、全員ボランティアとして活動に伴う飲食費、交通費等は自己負担とし、同窓会から支出はしない。
- ・親睦旅行やゴルフの会は、会員の一部の人間が参加するものであるため、金銭的援助は行なわない。
- ・コピー代、印刷代、通信費など活動のための実費は、領収書を提出し会計の承認を得て支払う。

令和2年度監査報告

我々監事3名は、令和2年度決算書類を慎重に監査した結果、いずれも適正かつ妥当なものと認めます。

令和3年4月4日

監事 吉本 幸一

監事 福士 木綿子

監事 斎藤 耕一

(5) その他

地域の行事へ積極的に参加し、地域の発展に協力する。

第2号議案「令和3年度収支予算(案)」

令和3年度予算

(自:令和3年4月1日 至:令和4年3月31日)

(単位:円)

収入の部	令和3年度 予 算	令和2年度 実 績	支出の部	令和3年度 予 算	令和2年度 実 績
会 費 収 入	550,000	648,000	活 動 費	250,000	206,959
寄 付 金	450,000	696,300	会 報 費	600,000	582,925
預 金 利 息 収 入	-	95	総 会 ・ 懇 親 会 費	-	-
雑 収 入	-	-	通 信 費	10,000	2,430
北沢小同窓会余剰金受入	-	191,800	文 具 等 消 耗 品 費	50,000	42,844
			振替払込手数料負担	65,000	60,419
			振替取扱用紙印刷代	5,000	6,103
			メモリアルスペース費用	20,000	-
当年度計	1,000,000	1,536,195	当年度計	1,000,000	901,680
前 年 度 繙 越 金	2,772,664	2,138,149	次 年 度 繙 越 金	2,772,664	2,772,664
合 計	3,772,664	3,674,344	合 計	3,772,664	3,674,344

第3号議案 役員の選出

(卒業年の「東」は東大原小学校、「守」は守山小学校、「北」は北沢小学校、「下」は下北沢小学校の略)

1. 評議員

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
S26東	野地勝彰	S28守	片山節子	S28守	齋田孝	S28守	吉本幸一	S29東	臼井良雄
S31東	杉田浩	S31東	福士木綿子	S32東	玉利勝昭	S33東	岩本照雄	S34東	神田啓子
S34東	宮田維久子	S35守	在塚礼子	S35北	及川園子	S35東	梶川照矩	S35東	益井純子
S36東	漆畠光一	S36東	大岡雅子	S36北	小川進	S36東	小山田忠	S36東	齋藤耕一
S38守	猪鹿倉雅子	S39東	降幡正明	S41北	古田直子	S44東	大澤弘一	S44北	久保孝光
S44北	菅原充	S47北	豊田慈子	S48東	武中千里	S49北	大屋勇	S49東	窪田賢雄
S49守	杉本真	S50東	渡辺明男	S51東	田尾智志	S51守	山本直子	S52東	大塚智弘
S55守	元田雅子	S57東	宮田健二	S61東	羽生田やまめ	S63守	佐野敬	下副校長	石川亜由美
									以上40名

2. 理事

S31東	杉田浩	S32東	玉利勝昭	S34東	宮田維久子	S35北	及川園子	S35東	梶川照矩
S35東	益井純子	S36東	漆畠光一	S36東	大岡雅子	S36東	小山田忠	S39東	降幡正明
S47北	豊田慈子	S48東	武中千里	S49北	大屋勇	S49守	杉本真	S50東	渡辺明男
S51東	田尾智志	S52東	大塚智弘	S55守	元田雅子	S61東	羽生田やまめ	下副校長	石川亜由美
									以上20名

3. 会長・副会長

会長：S26東 野地勝彰
副会長：S28守 齋田孝 S29東 臼井良雄 S44北 菅原充 以上3名

4. 監事

S28守 吉本幸一 S36東 齋藤耕一 S44北 久保孝光 以上3名

下北沢小学校の概要 (令和3年4月現在)

児童数：714人 (男376人、女338人)

(1学年4学級133人、2学年4学級114人、3学年3学級108人、4学年3学級106人)

(5学年3学級113人、6学年4学級127人、くるみ2学級13人)

教職員数：40人

(学級担任24人、専科8人、学校主事2人、学校事務2人、スクールカウンセラー2人、図書司書2人)

教育目標：

人間尊重の精神を基調として、生涯を通じて学ぶことのできる人間の育成をめざして、次の目標を定める。

1. 考える子 2. 思いやりのある子 3. がんばる子

(下北沢小学校ホームページより引用)

年会費・寄付金を納入いただいた方々 (令和3年9月末日現在)

(卒業年の「H」は東大原小学校卒、「M」は守山小学校卒、「K」は北沢小学校卒、「S」は下北沢小学校卒の略)

卒業年	氏名										
昭12 H	望月令子	昭12 H	三宅喜代子	昭13 H	干場信夫	昭13 H	鮎澤弘	昭13 H	曾我田津子	昭13 H	山崎康子
昭14 H	寛谷恵美子	昭15 H	安斎勝太郎	昭15 H	澤原昌	昭15 H	島田公明	昭15 H	村松樹郎	昭15 H	福島昭子
昭16 H	山縣武典	昭16 K	紺野龍雄	昭16 K	高尾房子	昭17 H	大矢正雄	昭17 H	柏誠次	昭17 H	高田健一
昭17 H	野坂茂子	昭17 H	支倉治子	昭17 M	宮下陽子	昭18 H	山中武	昭18 H	篠山利生	昭18 H	永田弘子
昭18 K	岩田陽	昭18 K	安光哲弥	昭19 H	下條由之	昭19 H	山本倫久	昭19 H	中村若葉	昭19 H	小山恵美子
昭19 H	石井淑子	昭19 H	多田美智子	昭19 H	樺田揚子	昭19 K	渡辺泰夫	昭20 H	瀬下治雄	昭20 H	高木勝彦
昭20 H	菊田精一郎	昭20 H	須貝政男	昭20 H	上田晴江	昭20 H	今坂愛子	昭20 H	根岸依子	昭20 H	江里口弘子
昭20 H	熱田信子	昭20 H	大島千津子	昭20 H	伊藤達雄	昭20 H	田村浩子	昭20 M	青木禎子	昭21 H	伊藤眞
昭21 M	渋谷洋	昭21 M	中橋美智子	昭21 K	高畠誠一	昭21 K	谷澤美和子	昭21 K	秋山マリア	昭22 H	鎌野京子
昭22 H	上野美昭	昭22 H	武中守夫	昭23 H	伊庭保	昭23 H	若林弘司	昭23 H	石井一	昭23 H	宮内實太郎
昭23 H	四竜公子	昭23 H	青木恒子	昭23 M	鈴木眞也	昭23 K	守永伸二	昭24 H	豊田宏	昭24 H	西川武彦
昭24 H	張富士夫	昭24 H	関美津子	昭24 H	西岡巖	昭24 H	高橋みどり	昭24 K	古田二郎	昭25 H	太田健夫
昭25 H	木村裕子	昭25 H	島田秀子	昭25 H	阪本俊子	昭25 H	高野美也子	昭25 H	山崎惇	昭25 H	南澤明子
昭26 H	星輝佳	昭26 H	後藤茂彦	昭26 H	深津健司	昭26 H	石井宏和	昭26 H	奈倉理一	昭26 H	野地勝彰
昭26 H	野澤佳子	昭26 H	福士京子	昭26 H	土田昌宏	昭26 H	山中克昭	昭26 H	井上賀百合	昭26 H	皆川美代
昭26 H	田辺明子	昭26 K	西本孝光	昭27 H	長谷川博一	昭27 H	三樹勁志	昭27 H	岩崎敏之	昭27 H	武田国子
昭27 M	小池千加子	昭27 K	遠藤純	昭28 H	新居孝夫	昭28 H	竹内延男	昭28 H	杉本正夫	昭28 H	鹿島田茂夫
昭28 H	森定洋子	昭28 H	小泉眞寿子	昭28 H	赤津信男	昭28 H	戸崎紀昭	昭28 H	小林尚	昭28 H	石井一男

次ページにつづく

年会費・寄付金を納入いただいた方々（令和3年9月末日現在）

前ページからのつづき

卒業年	氏	名	卒業年	氏	名	卒業年	氏	名	卒業年	氏	名	卒業年	氏	名	卒業年	氏	名	卒業年	氏	名
昭28 H	高	子	昭28 H	三	樹	昭28 M	石	弘	昭28 M	片	子	昭28 M	片	子	昭28 M	田	子	昭28 M	田	子
昭28 M	篠	男子	昭28 M	瀬	直	昭28 M	曾	康	昭28 M	齋	央	昭28 M	齋	江	昭28 M	阿	久	昭28 M	阿	久
昭28 K	吉	光	昭28 M	瀬	貞	昭28 M	吉	幸	昭28 M	高	子	昭28 M	齋	江	昭28 M	見	千	昭28 M	見	千
昭29 H	辻	治	昭29 H	安	和	昭29 H	大	昌	昭29 H	白	道	昭29 H	井	木	昭29 H	浦	田	昭29 H	浦	田
昭29 H	尾	恵	昭29 H	清	悦	昭29 H	水	一八	昭29 H	岡	子	昭29 H	渡	木	昭29 H	島	松	昭29 H	島	松
昭29 H	福	島	昭29 H	香	敬	昭29 H	杉	宏	昭29 H	渡	修	昭29 H	渡	喜	昭29 H	星	大	昭29 H	星	大
昭29 H	森	野	昭29 H	飯	佐	昭29 H	佐	朝	昭29 H	寺	子	昭29 H	寺	橋	昭29 H	大	岩	昭29 H	大	岩
昭30 H	増	山	昭29 H	辻	節	昭30 H	M	老	昭30 K	柏	勝	昭30 K	P	中	昭30 K	中	柏	昭30 K	中	柏
昭31 H	鈴	木	昭31 H	小	洋	昭31 H	M	士	昭31 H	海	夫	昭31 H	H	重	昭31 H	H	黑	昭31 H	H	黑
昭31 H	吉	井	昭31 H	山	健	昭31 H	M	土	昭31 H	F	子	昭31 H	H	加	昭31 H	H	美	昭31 H	H	美
昭31 H	濱	田	昭31 M	瀬	勇	昭31 M	M	山	昭31 M	I	子	昭31 M	H	百	昭31 M	H	武	昭31 M	H	武
昭31 M	古	島	昭31 K	古	彰	昭31 K	M	秋	昭31 M	O	典	昭31 K	H	藤	昭31 K	H	治	昭31 K	H	治
昭32 H	伊	野	昭32 H	野	和	昭32 H	M	島	昭32 H	K	雄	昭32 H	H	島	昭32 H	H	雄	昭32 H	H	雄
昭32 K	依	山	昭32 K	諸	和	昭32 K	M	刀	昭32 K	K	明	昭32 K	H	刀	昭32 K	H	明	昭32 K	H	明
昭33 H	坂	木	昭33 H	土	和	昭33 H	M	石	昭33 H	K	靖	昭33 H	H	石	昭33 H	H	靖	昭33 H	H	靖
昭33 H	舞	井	昭33 H	加	和	昭33 H	M	田	昭33 H	K	雄	昭33 H	H	田	昭33 H	H	雄	昭33 H	H	雄
昭34 H	平	喜	昭34 H	石	和	昭34 H	M	鳥	昭34 H	K	夫	昭34 H	H	大	昭34 H	H	夫	昭34 H	H	夫
昭34 H	志	良	昭34 H	新	和	昭34 H	M	川	昭34 H	K	子	昭34 H	H	本	昭34 H	H	子	昭34 H	H	子
昭34 H	藤	正	昭34 H	眞	和	昭34 H	M	宮	昭34 H	K	豊	昭34 H	H	端	昭34 H	H	豊	昭34 H	H	豊
昭34 H	藤	早	昭34 H	神	和	昭34 H	M	田	昭34 H	K	子	昭34 H	H	峰	昭34 H	H	子	昭34 H	H	子
昭35 H	牧	久	昭35 H	鈴	和	昭35 H	M	田	昭35 H	K	子	昭35 H	H	端	昭35 H	H	子	昭35 H	H	子
昭35 H	田	征	昭35 H	益	和	昭35 H	M	藤	昭35 H	K	子	昭35 H	H	井	昭35 H	H	子	昭35 H	H	子
昭35 H	野	正	昭35 H	加	和	昭35 H	M	本	昭35 H	K	一	昭35 H	H	木	昭35 H	H	一	昭35 H	H	一
昭35 M	在	良	昭35 M	及	和	昭35 M	M	川	昭35 M	K	惠	昭35 M	H	木	昭35 M	H	惠	昭35 M	H	惠
昭36 M	下	正	昭36 M	古	和	昭36 M	M	原	昭36 M	K	二	昭36 M	H	木	昭36 M	H	二	昭36 M	H	二
昭36 H	西	高	昭36 H	古	和	昭36 H	M	岡	昭36 H	K	二	昭36 H	H	木	昭36 H	H	二	昭36 H	H	二
昭36 H	内	寿	昭36 H	周	和	昭36 H	M	澤	昭36 H	K	二	昭36 H	H	木	昭36 H	H	二	昭36 H	H	二
昭37 H	加	高	昭37 H	利	和	昭37 H	M	竹	昭37 H	K	二	昭37 H	H	木	昭37 H	H	二	昭37 H	H	二
昭37 H	田	雅	昭37 H	光	和	昭37 H	M	崎	昭37 H	K	二	昭37 H	H	木	昭37 H	H	二	昭37 H	H	二
昭37 K	小	英	昭37 K	彰	和	昭37 K	M	旗	昭37 K	K	二	昭37 K	H	木	昭37 K	H	二	昭37 K	H	二
昭38 K	麦	晶	昭38 K	彰	和	昭38 K	M	谷	昭38 K	K	二	昭38 K	H	木	昭38 K	H	二	昭38 K	H	二
昭39 K	佐	晶	昭39 K	彰	和	昭39 K	M	原	昭39 K	K	二	昭39 K	H	木	昭39 K	H	二	昭39 K	H	二
昭40 K	崔	昭	昭40 K	彥	和	昭40 K	M	田	昭40 K	K	二	昭40 K	H	木	昭40 K	H	二	昭40 K	H	二
昭41 M	三	夫	昭41 M	介	和	昭41 M	M	田	昭41 M	K	二	昭41 M	H	木	昭41 M	H	二	昭41 M	H	二
昭42 H	西	也	昭42 H	子	和	昭42 H	M	藤	昭42 H	K	二	昭42 H	H	木	昭42 H	H	二	昭42 H	H	二
昭43 H	荒	也	昭43 H	修	和	昭43 H	M	本	昭43 H	K	二	昭43 H	H	木	昭43 H	H	二	昭43 H	H	二
昭44 H	藤	也	昭44 H	威	和	昭44 H	M	川	昭44 H	K	二	昭44 H	H	木	昭44 H	H	二	昭44 H	H	二
昭44 K	大	也	昭44 K	子	和	昭44 K	M	川	昭44 K	K	二	昭44 K	H	木	昭44 K	H	二	昭44 K	H	二
昭45 F	福	也	昭45 F	裕	和	昭45 F	M	原	昭45 F	K	二	昭45 F	H	木	昭45 F	H	二	昭45 F	H	二
昭46 K	加	也	昭46 H	新	和	昭46 H	M	嶠	昭46 H	K	二	昭46 H	H	木	昭46 H	H	二	昭46 H	H	二
昭48 H	大	也	昭48 H	彥	和	昭48 H	M	田	昭48 H	K	二	昭48 H	H	木	昭48 H	H	二	昭48 H	H	二
昭49 M	蒲	也	昭49 M	裕	和	昭49 M	M	田	昭49 M	K	二	昭49 M	H	木	昭49 M	H	二	昭49 M	H	二
昭50 H	三	也	昭51 H	藤	和	昭51 H	M	藤	昭51 H	K	二	昭51 H	H	木	昭51 H	H	二	昭51 H	H	二
昭51 H	藤	也	昭53 M	佐	和	昭53 K	M	田	昭53 K	K	二	昭53 K	H	木	昭53 K	H	二	昭53 K	H	二
昭53 M	佐	也	昭55 M	元	和	昭55 M	M	山	昭55 M	K	二	昭55 M	H	木	昭55 M	H	二	昭55 M	H	二
昭55 M	元	也	昭58 H	川	和	昭59 H	M	平	昭59 H	K	二	昭59 H	H	木	昭59 H	H	二	昭59 H	H	二
昭60 H	佐	也	昭60 H	佐	和	昭60 H	M	上	昭60 H	K	二	昭60 H	H	木	昭60 H	H	二	昭60 H	H	二
昭61 H	漆	也	昭61 H	介	和	昭61 H	M	田	昭61 H	K	二	昭61 H	H	木	昭61 H	H	二	昭61 H	H	二
昭63 H	漆	也	昭63 H	隆	和	昭63 H	M	田	昭63 H	K	二	昭63 H	H	木	昭63 H	H	二	昭63 H	H	二
平1 H	益	也	平1 H	弘	和	平1 H	M	田	平1 H	K	二	平1 H	H	木	平1 H	H	二	平1 H	H	二
平3 H	田	也	平3 H	裕	和	平3 H	M	田	平3 H	K	二	平3 H	H	木	平3 H	H	二	平3 H	H	二
平7 H	植	也	平7 H	俊	和	平7 H	M	田	平7 H	K	二	平7 H	H	木	平7 H	H	二	平7 H	H	二
平10 H	植	也	平10 H	輝	和	平10 H	M	田	平10 H	K	二	平10 H	H	木	平10 H	H	二	平10 H	H	二
平16 H	降	也	平16 H	浩	和	平16 H	M	田	平16 H	K	二	平16 H	H	木	平16 H	H	二	平16 H	H	二
平21 H	松	也	平21 H	浩	和	平21 H	M	田	平21 H	K	二	平21 H	H	木	平21 H	H	二	平21 H	H	二
平24 H	本	也	平24 H	浩	和	平24 H	M	田	平24 H	K	二	平24 H	H	木	平24 H	H	二	平24 H	H	二

同窓会費の支払方法

同窓会年会費・寄付金の支払いは、同封の「振替払込取扱票」(払込手数料無料)にて郵便局(ATM利用可)でお願いします
又は、ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキュウ)店 当座預金口座番 073106「下北沢小学校同窓会」宛に送金をお願いします

下北沢小学校同窓会にはホームページがあります <http://www.shimokitazawa.school/>

下北沢小学校のホームページにもリンクしており母校の現況を見ることができますので、ぜひ上記URLで検索ください。